



助けを必要とする人の

「防災・避難訓練」が行われました。



11月25日（日）に、初めての試みとして「**要**援護者向けの防災・避難訓練」が豊田小学校で行なわれました。

長沼町では、毎年「支えあいカード」という調査を行い万が一の災害時に「1人で（自力で）避難所まで行けない人」を対象に「災害時**要**援護者」と位置付け実施しました。

9時に役員が集まり、毛利会長から「当日のスケジュール」の説明があり、訓練開始は4人の民生委員から、各役員に指示が出され各々**要**援護者宅にお迎えに行き、避難所（豊田小学校）まで訓練同行いたしました。

10時半から「特別教室」に訓練避難しました災害時**要**援護者16名や民生委員、役員を交えて30分ほど意見交換が行われ、活発な意見が多く出されました。

（「栄区緊急時医療委情報キット」を配布・説明）

役員が**要**援護者全員を自宅までお送りした後、30名の役員で「反省会」が行われました。

いろいろな意見がでましたが、圧倒的に多かった意見が「車椅子が全然足りない！」豊田地域ケアプラザから5台の車椅子を借用し、町内にある車椅子とで対応しましたが、車椅子不要と言われていた人達も、途中まで歩いて疲れて歩けなくなり車椅子で迎えに行くことも行いました。

今回は初めての訓練でしたので、勉強になることが多く「今までの防災訓練よりも、

有意義な訓練だった。」という意見が多くありました。

今回の訓練では準備の段階から多くの助言を頂き、またお忙しい中ご参加頂きました、栄区役所の宮崎様、豊田ケアプラザの大坪様には大変お世話になりました。

最後に、民生委員・保健活動推進員・消費生活推進員・家庭防災員・町内会役員・防災部役員、貝殻坂ハイツ大関会長等ご参加頂きました皆様には感謝申し上げます。

次回は、通常の「防災訓練」と合同で（ボランティアの含め）実施致したく更に進めてまいります。今後ともご協力頂きますようお願いいたします。

ご参加して下さった方々には、心よりお礼申し上げます。

